

宿

令和4年2月21日発行
品川第一地域センター

TEL 3450-2000
FAX 3450-2026



本殿へと続く石段の途中、左手に富士塚の登山道入口(①)があります。登山道に入ると、登山の神様「猿田彦大神」を祀る小さな神社(②)がお出迎え。無事に登頂できるようにお祈りをしたら、いよいよ登山のスタートです。緩やかな石段をリズミカルに上がると、あっという間に5合目に到着です。



2月23日は富士山の日！ 品川神社の富士塚



2月23日は「2(ふ)2(じ)3(さん)」という語呂合わせから「富士山の日」とされており、山梨県や静岡県では条例で制定されています。実は、品川にも「富士山」があるのをご存じですか？その正体は、品川神社の敷地内にある「富士塚」です。「品川富士」とも呼ばれています。富士塚は、身近に富士山を参拝できる場所(遥拝所)として、明治2(1869)年頃に富士山を信仰する団体「品川丸嘉講」によって造られた人工の山です。

もつすぐ富士山の日ということで、品川の富士山「富士塚」に登ってみました。



6合目から先は、登山道が狭くなり、石段が急(③)になります。険しい道のりは、まさに富士登山そのもの。7合目に差し掛かると、万葉歌人「柿本人麻呂」の和歌が刻まれた石碑(④)が立っています。手すりに握まりながら8合目と9合目の標石を過ぎると、頂上が見えてきます。ゴールはもうすぐです。

富士塚の頂上(⑤)に無事到着です。頂上からの眺めはとても良く、旧東海道品川宿周辺の街並みやその背景にあるベイエリアを一望できます。遠くにはレインポープリッジも見えました。遠くに出かけることが難しい中、少し足を延ばして、品川での富士登山を楽しんでみてはいかがでしょうか？



品川第一地区特集



～皆さんの憩いの場である公園を紹介します～



品川浦公園

〈東品川1-7-17〉



鯨(くじら)塚 ～寛政の鯨～



▲勝川 春亭「品川沖之鯨高輪ヨリ見ル図」
※2頭の鯨が描かれているが、実際は1頭のみ。

その後、この鯨の骨は当時の洲崎弁天(現：利田神社)の境内に埋められ、供養としてその上に石碑が建てられました。これが「鯨塚」です。当時の様子を知ることのできる貴重な資料として、現在も大切に保管されています。



八ツ山通り沿いに位置し、隣接する利田(かがた)神社境内の「鯨(くじら)塚」にちなんだくじらの遊具やモニュメントが印象的な公園です。車の交通量が少なく、園内が広々としているため、地域の子どもたちはかけっこやかくれんぼなど思い思いの遊びを楽しんでいます。



戸川会長にお話を伺いました！



この公園は、遊ぶための場所であることはもちろん、品川沖の歴史を知るきっかけを与えてくれる場所でもあります。

